

レオンハルディ編 『衣服、風俗、習慣からみた絵による著名民族』英・仏・伊の最良の著作からの説明付き

Leonhardi, M. Friedrich Gottlob (hrsg.). Bildliche Darstellung aller bekannten Völker nach ihren Kleidertrachten, Sitten, Gewohnheiten und mit Beschreibung aus den besten englischen, französischen und italienischen Werken. Leipzig, Industrie=Comptoir, (1798) 1801. 90 plates (copper. hand-col.) 20.2×16.6cm 382.3-L (文献番号1-16)
Hiler p.539 Colas 1833 Lipp.48

ハリシェン自然科学研究協会，ポツダムの王立プロイセン・マルク経済学会，ライプチヒ経済協会などに所属する経済学教授レオンハルディ編による本書は，1798年に発行された第2分冊から第32分冊に第1分冊を加えて，1801年に発行された第2版である。

18世紀から19世紀の過渡期に出版された，イギリス，フランス，イタリア及び世界の国々の民族，衣服，風俗，習慣を描写した挿図入りの服装書は，当時のドイツでは希有であったにもかかわらず，ソーヴール (Jacques Grasset de Saint-Suveur)〈383.1-G-1~4〉などと比べてかなり実証的になってきている。

未開諸島の原住民，スイスのベルン地方やユーゴのダルマチア地方の住民，バルバロイ，エクアドルのキトーの住民，シリア人，蒙古民族のカルムク人，カナダの未開人，カリフォルニア人，メキシコ人，マダガスカル島の島民，ニュージーランドの住民，ホッテントット人，北部ギリシア諸島の島民，パタゴニア人，ラップ人，ベドウィン人，フィンランド人，スペイン人，オスマン・トルコのトルコ人，中国人，インド人，ボヘミア王国の住民，アラビアの貴族，ローマ教皇の護衛兵，チロル人，帝国直属自由都市ハンブルクとその地方の住民などが描かれている。わけても当時は比較的，未開とされていた民族の土俗的な描写が中心になっている。



インド南東部コロマンデル地方に住むタミール人



ドイツ，ハンブルク市の物売り